



東北大学×早稲田大学GSセンター コラボ企画  
性の多様性セミナー



# STUDENTS×UNIVERSITY ×GENDER and SEXUALITIES

わたしたちは  
ジェンダー・セクシュアリティに  
どう関わっていけばいいのか。

国内外でLGBTQ+などの性的マイノリティや性の多様性について関心が高まっています。「大学」という組織に所属するわたしたちは「ジェンダー」や「セクシュアリティ」にどう関わっていけばよいのでしょうか。今回、日本で初めて女子学生を受け入れた東北大学と、日本初のセクシュアルマイノリティ学生支援を目的に設置された早稲田大学GSセンターとのコラボが実現しました。それぞれで活動してこられた4名が登壇し、講話とパネルディスカッションを行います。このセミナーに参加し、みなさんも一緒に考えてみませんか。

## セミナー概要

**日時** 2020年 **12月2日** (水) **15時-17時**

**参加費** 無料

**形式** オンラインセミナー (Zoomを使用)

**定員** 300人 (先着順受付。定員に達し次第締切)

**対象** 学生・教職員をはじめ、本テーマに関心のある方はどなたでも

イベントページまたはQRコードより、事前にお申し込みください。(締切：11月30日)

**主催** 東北大学経済学部非営利組織論ゼミナール

**申込方法**



←お申し込みフォーム (匿名可)

記入していただいたメールアドレスに、Zoomのリンクなど詳細事項をお送りします。

(<https://bit.ly/35cYKCK>)

**共催** 早稲田大学GSセンター  
東北大学課外・ボランティア活動支援センター  
日本財団学生ボランティアセンター(Gakuvo)  
※第2回課外・ボランティア活動研修会の一環

**協力** 東北大学男女共同参画推進センター  
東北大学学生相談・特別支援センター  
東北大学経済学研究科男女共同参画WG

**お問い合わせ** [npolab.tohoku@gmail.com](mailto:npolab.tohoku@gmail.com)  
(非営利組織論ゼミナール)

## パネラー・モデレーター紹介

### 『東北大学におけるダイバーシティ推進の取り組み』

#### 大隅 典子 氏

東北大学副学長・医学系研究科教授  
東北大学男女共同参画推進センター長



副学長として共同参画を担当。関係する著書として『理系女性のライフプラン あんな生き方・こんな生き方 研究・結婚・子育てみんなどうしてる?』（メディカルサイエンスインターナショナル社）、訳書として『なぜ理系に進む女性は少ないのか』（西村書店）がある。研究の専門は神経発生学。

### 『早稲田大学GSセンターの取り組み

—セクシュアルマイノリティ学生支援現場からみえてきたこと—

#### 渡邊 歩 氏

早稲田大学GSセンター専門職員



1989年、福島県生まれ / 筑波大学大学院修了 / 現在は早稲田大学GSセンターの専門職員として相談支援やコミュニティ運営をしながら、教育分野で研究や啓発活動、LGBTユースの居場所づくりを行う。

### 『仙台で、東北大で、ゲイとして生きる』

K

東北大学経済学部4年生  
本セミナー企画者

1998年生まれ / ゲイ / 東北大学経済学部4年 / 非営利組織論ゼミナール生 / アジア諸国への短期留学や留学生支援など、国際交流活動に積極的に従事 / 所属するゼミでは、自身が主催者となって性的マイノリティに関する講演会を企画し、150名以上が参加 / デンマークへ交換留学をし、性の多様性について学ぶ。



### 『早稲田と私 —私が社会に声を上げるに至るまで—』

#### 青柳 雄大 氏

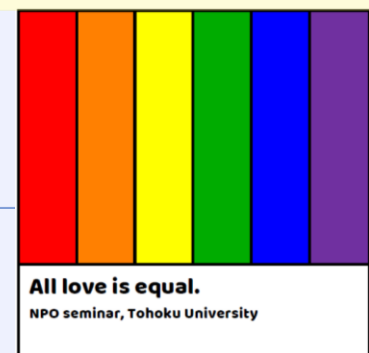
早稲田大学4年生  
早稲田大学GSセンター学生スタッフ



1999年生まれ / 早稲田大学教育学部4年 / 性的マイノリティ当事者 / 緊急事態宣言直後に立ち上げた若者支援プロジェクト「できること会議」共同代表 / SHIBUYA QWSチャレンジプロジェクト4期生 / 「若者の意見を社会に」をモットーに政治家に政策提言やマスメディアを通じて意見を発信 / デンマークにて1年間の交換留学

### モデレーター：西出 優子

東北大学経済学研究科教授



担当する非営利組織論ゼミナールで、「多様な性のあり方」に関するセミナー等を、学生主体で継続的に企画開催してきた / 多様な性の当事者とアライ（理解者・伴走者）の理解促進やインクルージョンに取り組む。